

定例公安委員会の開催状況について

令和5年5月24日に、第15回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 交通規制の実施について

交通規制の実施（日本海沿岸東北自動車道の定周期信号機の新設）について審議を行い、意思決定した。

委員のコメント

- 承認する。安全のために供されることを願う。

2 特殊詐欺被害の水際防止対策強化に向けた「コンビニエンスストア対象のオンデマンド訓練教材」の制作について

特殊詐欺被害の水際防止対策強化に向けた「コンビニエンスストア対象のオンデマンド訓練教材」の制作について報告があった。

委員のコメント

- 特殊詐欺被害を水際で防止するための対応要領が短時間にまとめられている。勤務時間帯が違う店員にも訓練内容が共有できる効果的な施策と思う。今後、さらに工夫を凝らして内容をバージョンアップし、広く活用してもらえるよう努めてほしい。
- 良いところに目を向けた施策と評価する。息の長い施策にしてほしい。また、被害防止協力店舗等を積極的に賞賛し、被害防止における水際対策の重要性について意識付けを図ってほしい。

3 「浪川会二代目浪川総業排除アピール集会2023」の開催について

本年5月22日、天童市内で開催された「浪川会二代目浪川総業排除アピール集会2023」について報告があった。

委員のコメント

- 暴力団排除の姿勢を示すことが大事である。暴力団事務所がある以上警戒する必要があり、集会でアピールすることは県民への意識付けになる。
- 官民一体となった暴力団排除活動は、今後も手を緩めることなく、継続していかなければならない。また、他の地域も含め、暴力の芽を早期に摘むことで健全な地域社会の醸成に努めてほしい。
- アピール集会は大切であり、暴力団の排除に大きく寄与していると思う。これからも山形県の暴力団排除意識の高さを知らしめてほしい。

4 山形県嘱託警察犬審査会の開催及び警察犬の運用状況について

本年5月20日、天童市内で開催された「山形県嘱託警察犬審査会」及び警察犬の運用状況について報告があった。

委員のコメント

- 高齢化が進み、徘徊高齢者の増加が懸念され、行方不明者等の捜索活動における警察犬の活躍がますます期待される。今後も出動要請に応えられるよう育成を続けてほしい。
- 警察犬が広報役となり、人材獲得の一役となるのではないか。